



中部電力

2022年度第3四半期 決算説明資料

2023年1月30日

I	2022年度第3四半期 決算概要	<スライド番号>
	決算概要 1
	セグメント別決算概要 4
	発電電力量 8
	(参考) 期ずれ影響のイメージ (実績) 9
	2022年度 業績見通し10
	配当状況12
	(参考) 期ずれ影響のイメージ (見通し)13
II	参考データ：決算・財務関連	<スライド番号>
	連結収支比較表14
	連結財政状態の概要15
	2022年度 セグメント別業績見通し16
	財務関連指標等17

I 2022年度第3四半期 決算概要

(注) 「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を、「3Q」表記は4月から12月までの期間を指します。
表示単位未満の数値について、金額は切り捨て、販売電力量や発電電力量などの諸元は四捨五入で記載しております。

決算概要①

〈決算のポイント〉(連結)

- 売上高：2兆8,140億円
燃料費調整額の増加(+5,610億円)などから、前年同期に比べ9,871億円の増収
- 経常損益：△278億円
期ずれ差損の拡大(△940億円)やパワーグリッドにおける需給調整費用の増加などにより収支は大きく悪化一方で、JERAの燃料トレーディング事業利益の増加などもあり、前年同期に比べ227億円の減益
- 親会社株主に帰属する四半期純損益：△374億円
政策保有株式の一部を売却したことなどにより有価証券売却益(+439億円)を特別利益として計上したものの、経常損益の悪化に加え、独占禁止法関連損失引当金繰入額(△275億円)や、子会社等における固定資産の減損損失(△117億円)を特別損失として計上したことなどから、前年同期に比べ243億円の減益

- ・ 売上高は、2019/3Q以来、3年ぶりの増収
 - ・ 2018/3Q以来、4年ぶりの増収減益
 - ・ 経常損益は、2021/3Qに続き、2年連続の減益
 - ・ 2021/3Qに続き、2年連続の赤字
- (億円,%)

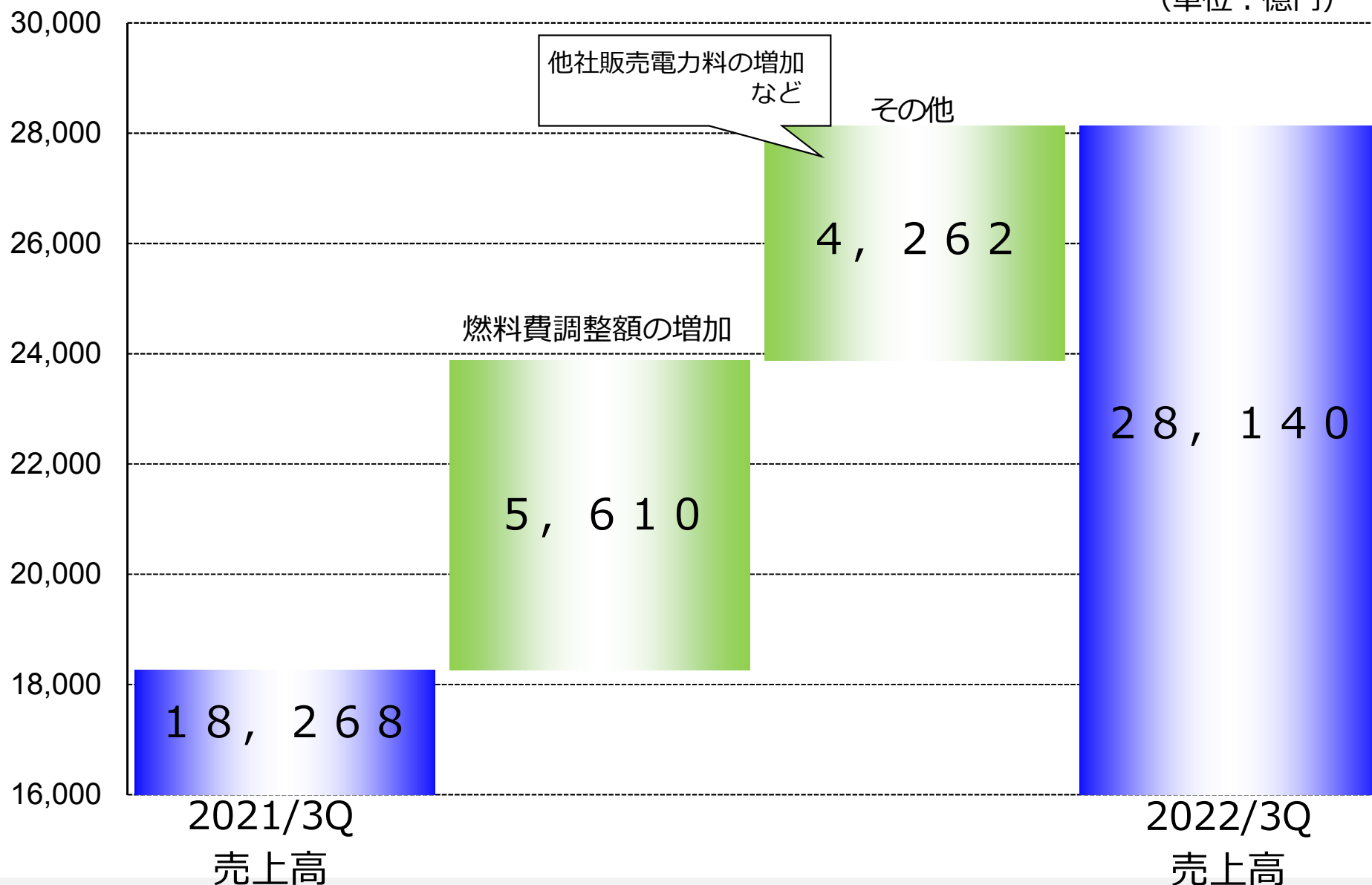
	2022/3Q (A)	2021/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	28,140	18,268	9,871	54.0
営業損益	482	△18	500	—
経常損益	△278 (1,710程度)	△51 (1,000程度)	△227 (710程度)	— (71.0)
特別利益	439	—	439	—
特別損失	393	56	336	596.4
親会社株主に帰属する四半期純損益	△374	△131	△243	—

(注) 連結対象会社数 2022/3Q 連結子会社 60社(△2社) 持分法適用会社 65社(+7社) [() 内は前年同期差]
() 内は期ずれ除き経常損益

決算概要②

〈連結売上高の変動要因〉 (9,871億円の増収)

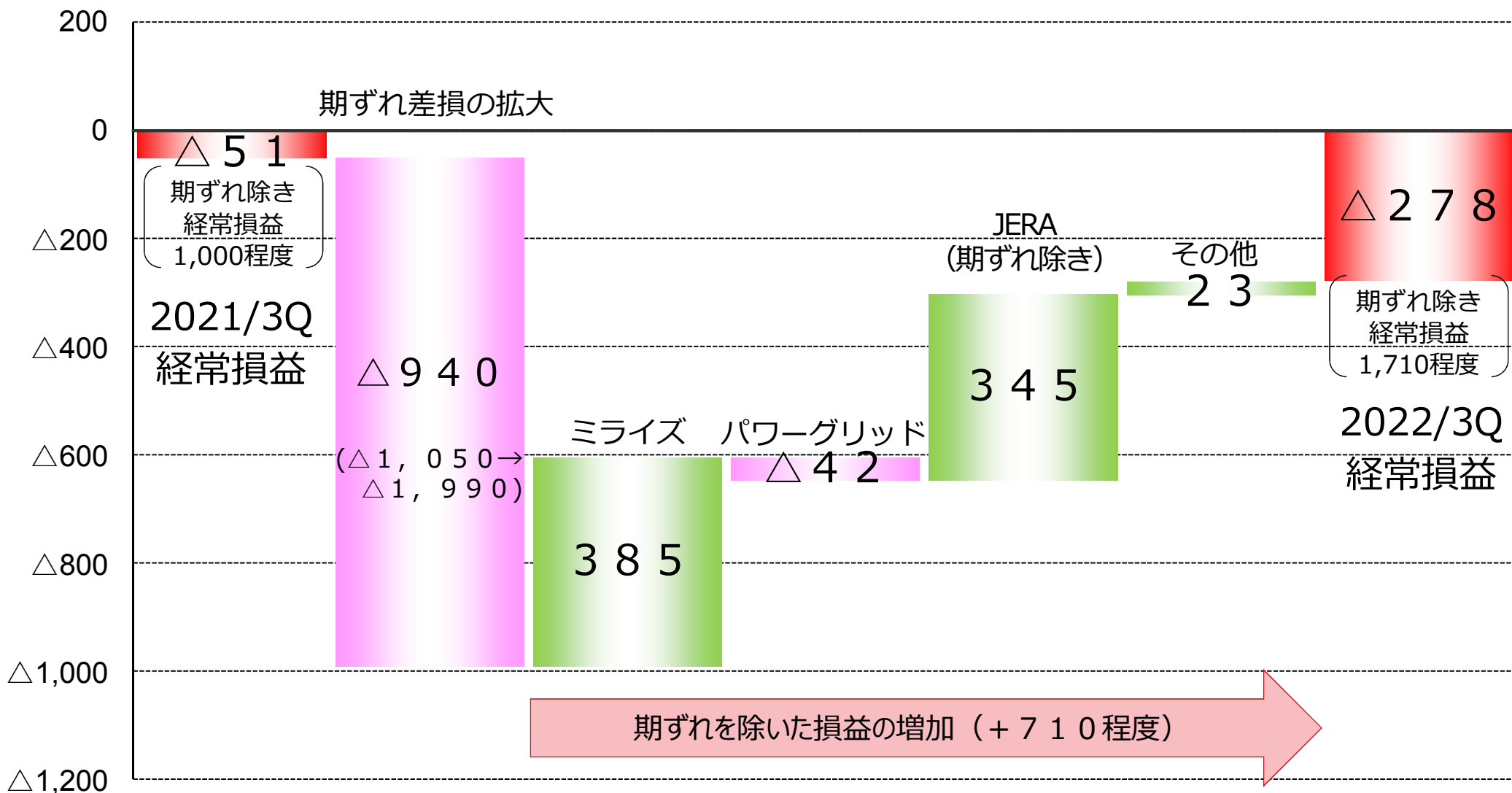
(単位：億円)



決算概要③

〈連結経常損益の変動要因〉 (227億円の減益)

(単位：億円)



セグメント別決算概要①

【売上高】

(億円,%)

	2022/3Q (A)	2021/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	21,416	13,713	7,702	56.2
パワーグリッド	8,407	5,962	2,444	41.0
その他 (※1)	6,250	6,041	209	3.5
調整額	△7,933	△7,448	△485	—
合計	28,140	18,268	9,871	54.0

【経常損益】

(億円,%)

	2022/3Q (A)	2021/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	125	△260	385	—
パワーグリッド	△192	△149	△42	—
J E R A (※2)	△596	△2	△594	—
その他 (※1)	695	1,163	△468	△40.3
調整額	△310	△803	492	—
合計	△278	△51	△227	—

(注) 各セグメントは内部取引消去前で記載しております。

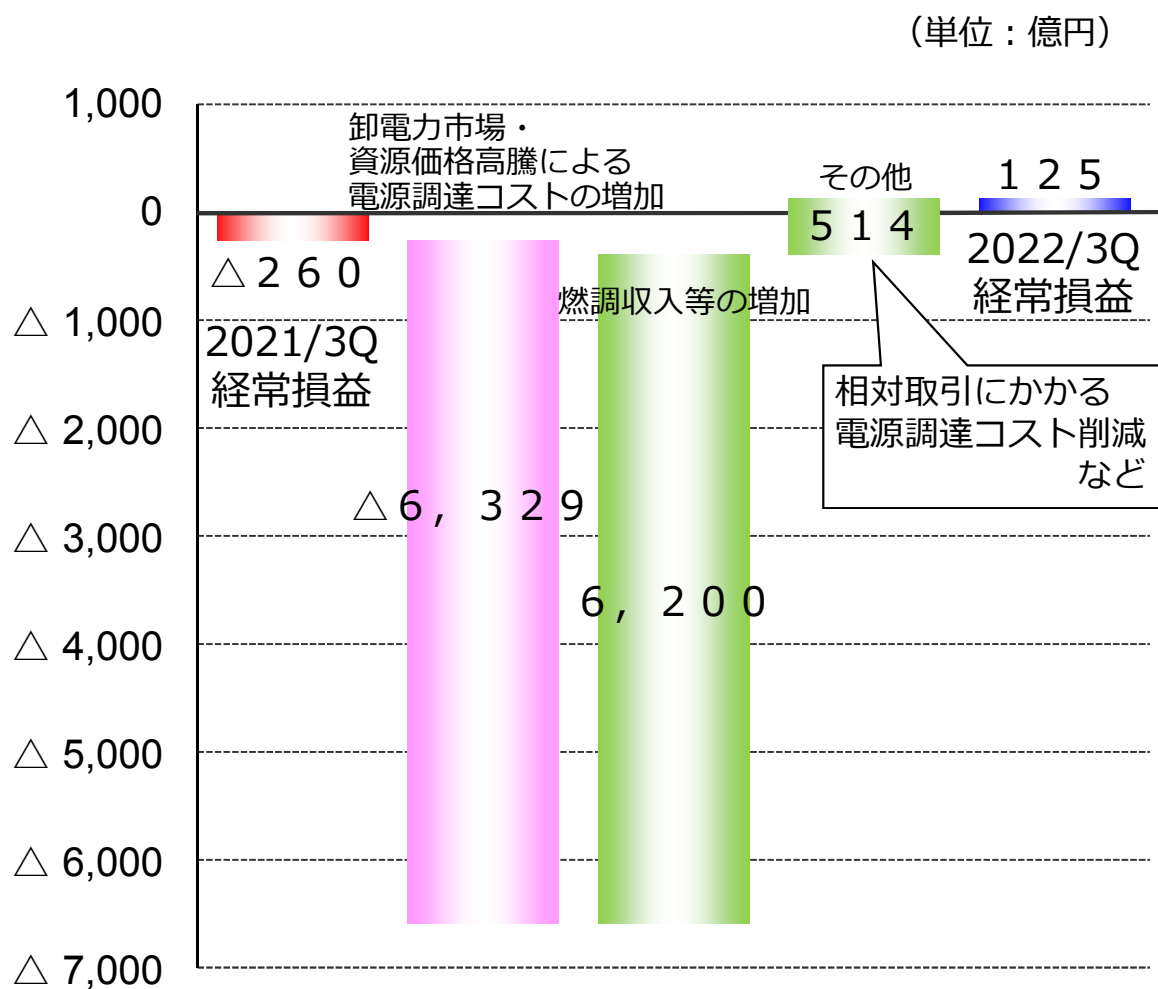
※1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、当社の再生可能エネルギーカンパニー、事業創造部門、グローバル事業部門、原子力部門、管理間接部門、その他の関係会社等を含んでおります。

※2 J E R Aは、持分法適用会社のため、売上高は計上されません。

セグメント別決算概要②：ミライズ

〈経常損益の変動要因〉

- 卸電力市場価格や資源価格の高騰による電源調達コストの増加はあったものの、燃料価格上昇による燃調収入等の増加や、相対取引にかかる電源調達コストの削減などにより、前年同期に比べ 385億円の増益



(販売電力量)

(億kWh,%)

	'22/3Q (A)	'21/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
低圧	209	217	△8	△3.7
高圧・特別高圧	546	575	△29	△5.1
合計	755	792	△37	△4.7

競争影響△32程度、気温・景気等△5程度

[参考]

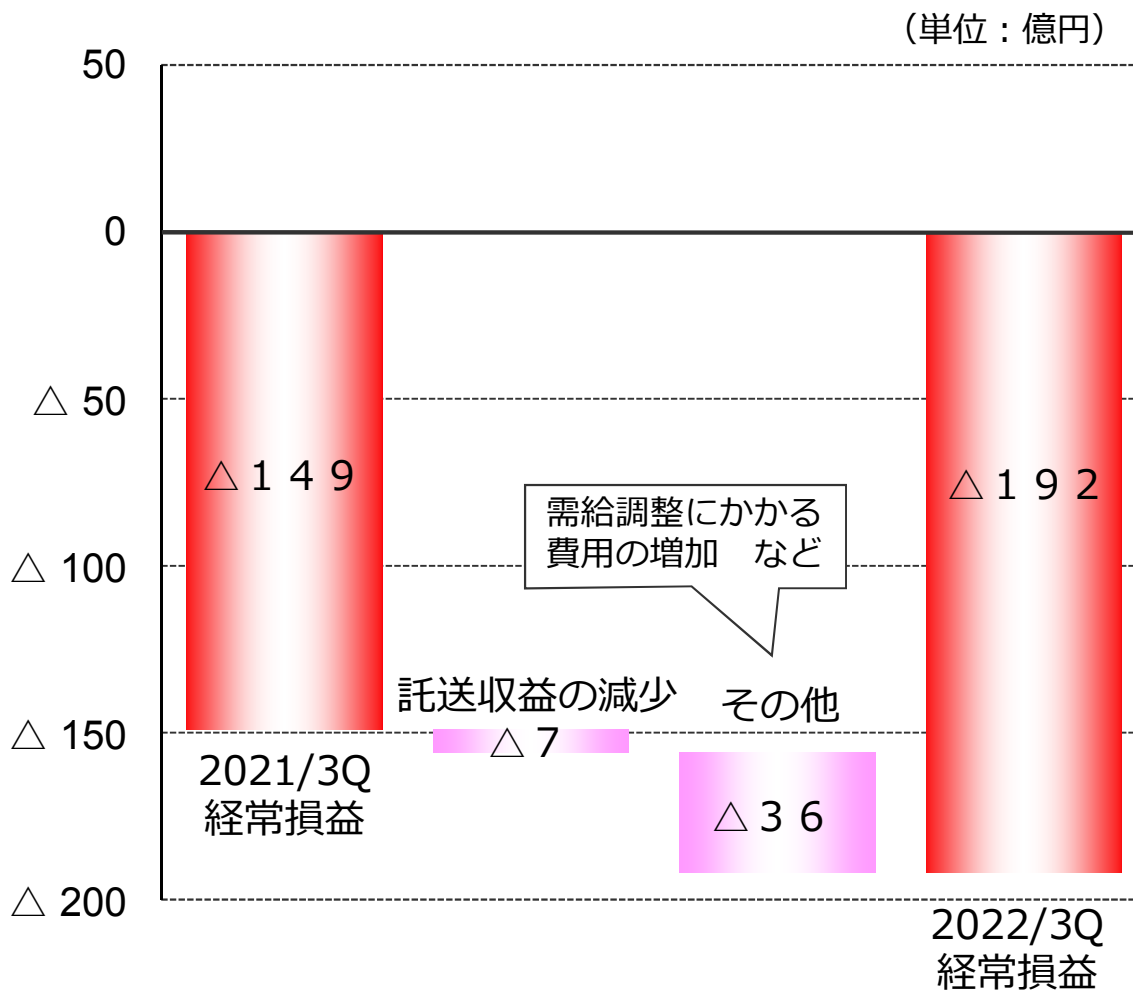
グループ合計の 販売電力量	833	857	△24	△2.8
他社販売電力量	84	82	2	2.4

- ※ グループ合計の販売電力量は中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の実績を記載しております。
- ※ 他社販売電力量は中部電力ミライズの子会社および関連会社への販売電力量を除いて記載しております。
- ※ 他社販売電力量は期末時点で把握している電力量を記載しております。

セグメント別決算概要③：パワーグリッド

〈経常損益の変動要因〉

- 託送収益の減少や需給調整にかかる費用の増加などから、前年同期に比べ 42億円の減益



(エリア需要)

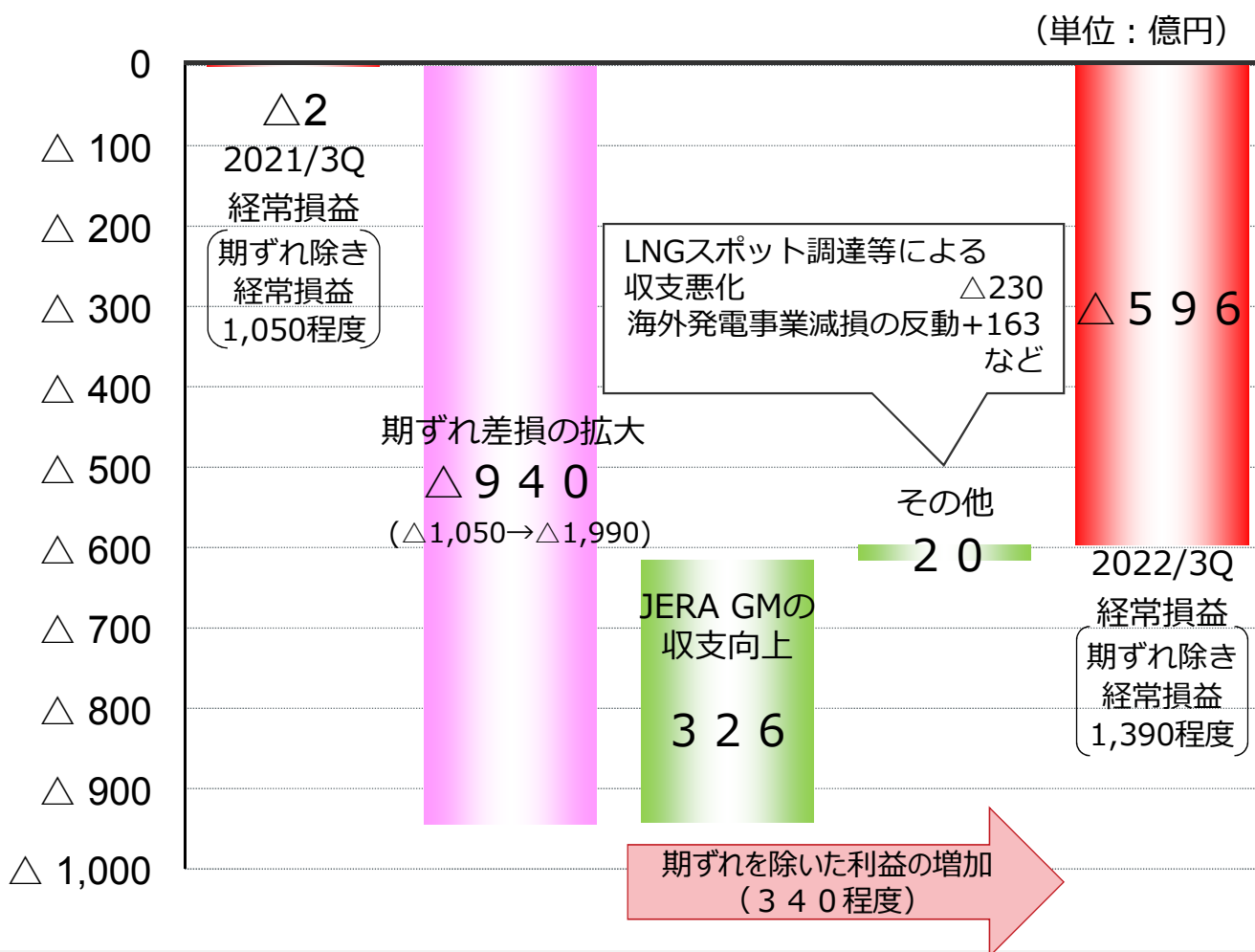
	'22/3Q (A)	'21/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
低圧	266	267	△1	△0.4
高圧・特高	649	654	△5	△0.8
合計	916	922	△6	△0.7

(億kWh,%)

セグメント別決算概要④：J E R A

〈経常損益の変動要因〉

- 燃料トレーディング事業を行うJERA GMの収支向上などはあったものの、期ずれ差損の拡大などにより、前年同期に比べ 594億円の減益
(参考) 期ずれを除いた経常損益：1,390億円程度 (前年同期に比べ 340億円程度の増益)



(CIF価格・為替レート)

	'22/3Q (A)	'21/3Q (B)	増減
			(A-B)
原油CIF価格(\$/b)	107.9	74.0	33.9
為替レート(円/\$)	136.5	111.1	25.4

※2022/3Qの原油CIF価格は速報値

(参考：JERA連結決算値)

	'22/3Q (A)	'21/3Q (B)	増減
			(A-B)
連結純損益(億円)	△1,002 (2,984)	184 (2,283)	△1,187 (701)

() 内は期ずれ除き連結純損益

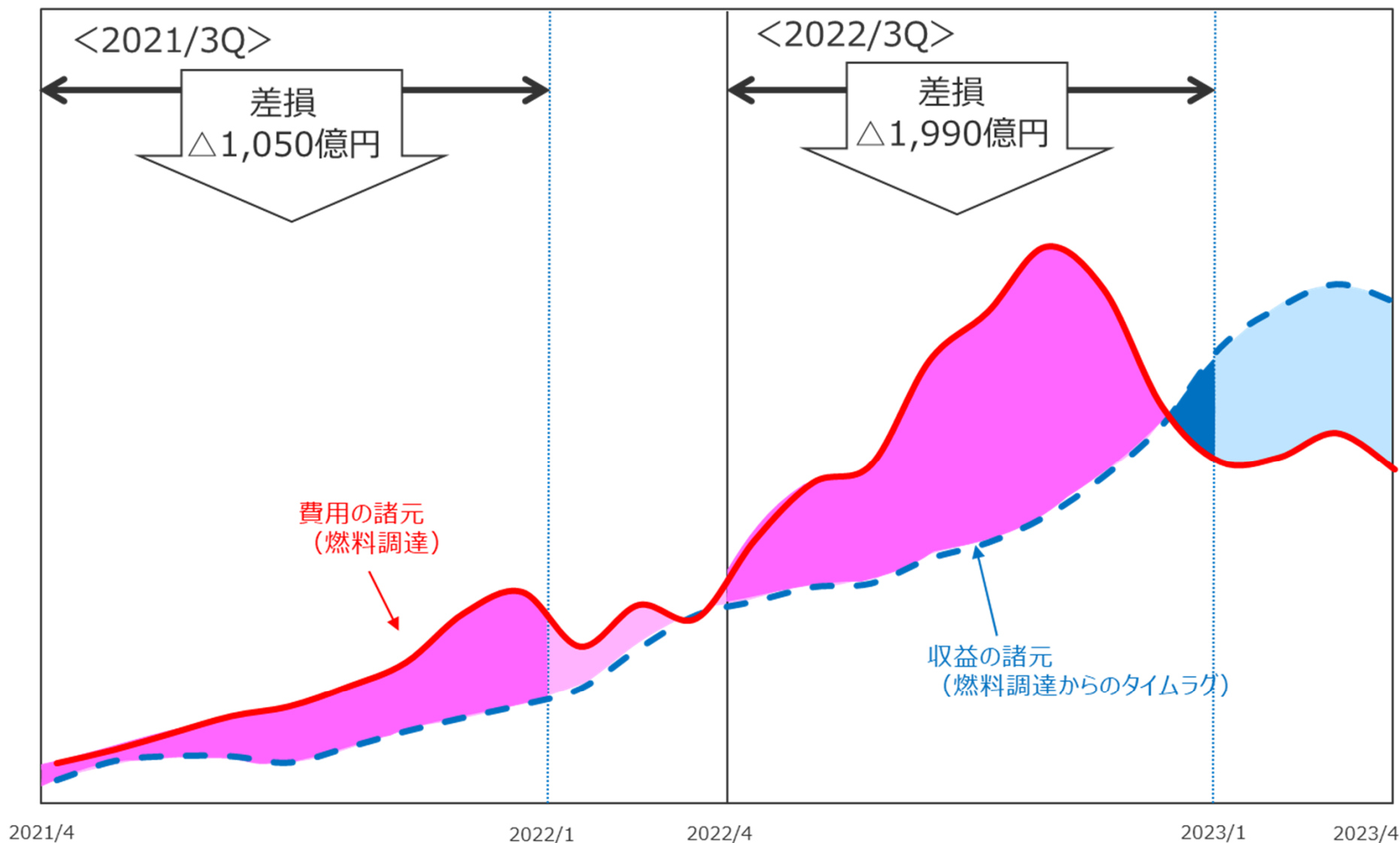
〈発電電力量〉（中部電力）

- **水力** 出水率が前年同期を下回ったことから、3億kWh減少
- **新エネルギー** 前年同期並み

(億kWh,%)

	2022/3Q (A)	2021/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
水力 (出水率)	68 (95.5)	71 (103.9)	△3 (△8.4)	△3.7
原子力 (設備利用率)	— (—)	— (—)	— (—)	—
新エネルギー	3	3	0	7.3
合計	71	73	△2	△3.3

(参考) 期ずれ影響のイメージ (実績)



2022年度 業績見通しの概要①

〈業績見通し〉(連結) 2022年10月28日公表の業績予想値を修正

- 売上高：4兆円
燃料価格下落に伴う燃料費調整額の減少や販売電力量の減少などにより、前回公表から1,000億円程度の減収
- 経常損益：600億円
燃料価格や卸電力取引市場価格が前回公表よりも大幅に下落しており、期ずれ差損の縮小に加え、ミライズの電源調達コストやパワーグリッドの需給調整費用の減少、JERAのLNGスポット調達の改善などにより、前回公表から2,300億円程度の増益

- ・ 売上高は、2019年度以来、3年ぶりの増収
- ・ 2019年度以来、3年ぶりの増収増益
- ・ 経常損益は、2020年度以来、2年ぶりの増益

(億円,%)

	今回公表 (A)	10/28公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	40,000	41,000	△1,000程度	△2.4
経常損益	600 (1,600程度)	△1,700 (△200程度)	2,300程度 (1,800程度)	— (—)
親会社株主に帰属する当期純損益	500	△1,300	1,800程度	—

[参考] 前期比較

(億円,%)

	今回公表 (A)	2021年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	40,000	27,051	12,950程度	47.9
経常損益	600 (1,600程度)	△593 (670程度)	1,190程度 (930程度)	— (140.0)
親会社株主に帰属する当期純損益	500	△430	930程度	—

() 内は期ずれ除き経常損益

2022年度 業績見通しの概要②

【主要諸元】

(中部電力ミライズの販売電力量)

競争影響△2程度、気温・景気等△15程度

(億kWh,%)

	今回公表 (A)	10/28公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	1,035	1,052	△17	△1.6
グループ合計の販売電力量	1,139	1,156	△17	△1.5

[参考] 前期比較

競争影響△40程度、気温・景気等△15程度

(億kWh,%)

	今回公表 (A)	2021年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	1,035	1,089	△54	△5.0
グループ合計の販売電力量	1,139	1,178	△39	△3.3

※ グループ合計の販売電力量は、中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の値を記載しております。

(その他)

	今回公表	10/28公表	<参考> 2021年度実績
原油CIF価格 (\$/b)	102程度	101程度	77
為替レート (円/\$)	136程度	139程度	112
原子力利用率 (%)	—	—	—

〈株主還元に関する考え方〉

- 電力の安全・安定的な供給のための設備投資を継続的に進めつつ、成長分野への投資を推進することで、持続的な成長を目指し、企業価値の向上に努めてまいります。
- 株主還元については、重要な使命と認識し、安定的な配当の継続を基本としながら、利益の成長を踏まえた還元に努め、連結配当性向 30%以上を目指してまいります。

〈期末配当予想〉

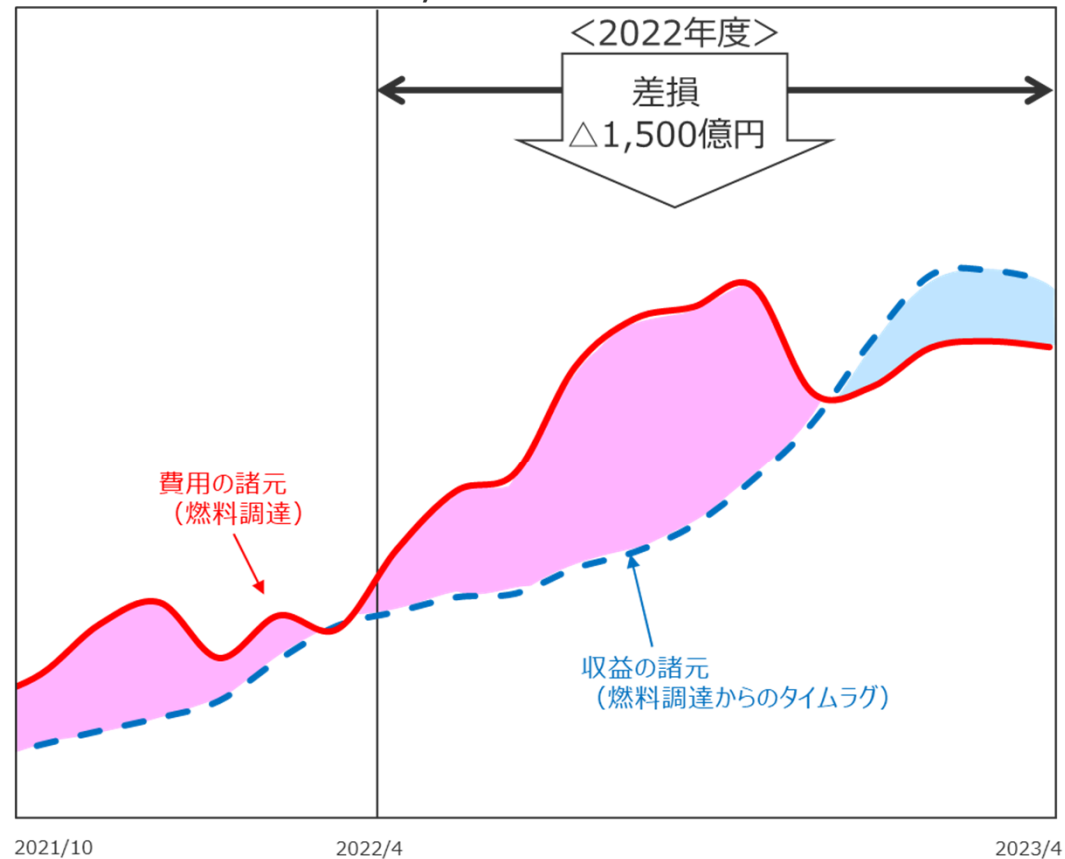
- 期末配当予想につきましては、期ずれ除き経常損益が2022年10月28日公表の赤字想定から大幅な増益となったことなどから、「未定」から「25円」に修正させて頂きました。

	2022年度	2021年度
1株当たり 中間配当金	25円	25円
1株当たり 期末配当金	(25円)	25円
合計	(50円)	50円
期ずれ補正後の 連結配当性向	(25%程度)	45.6%

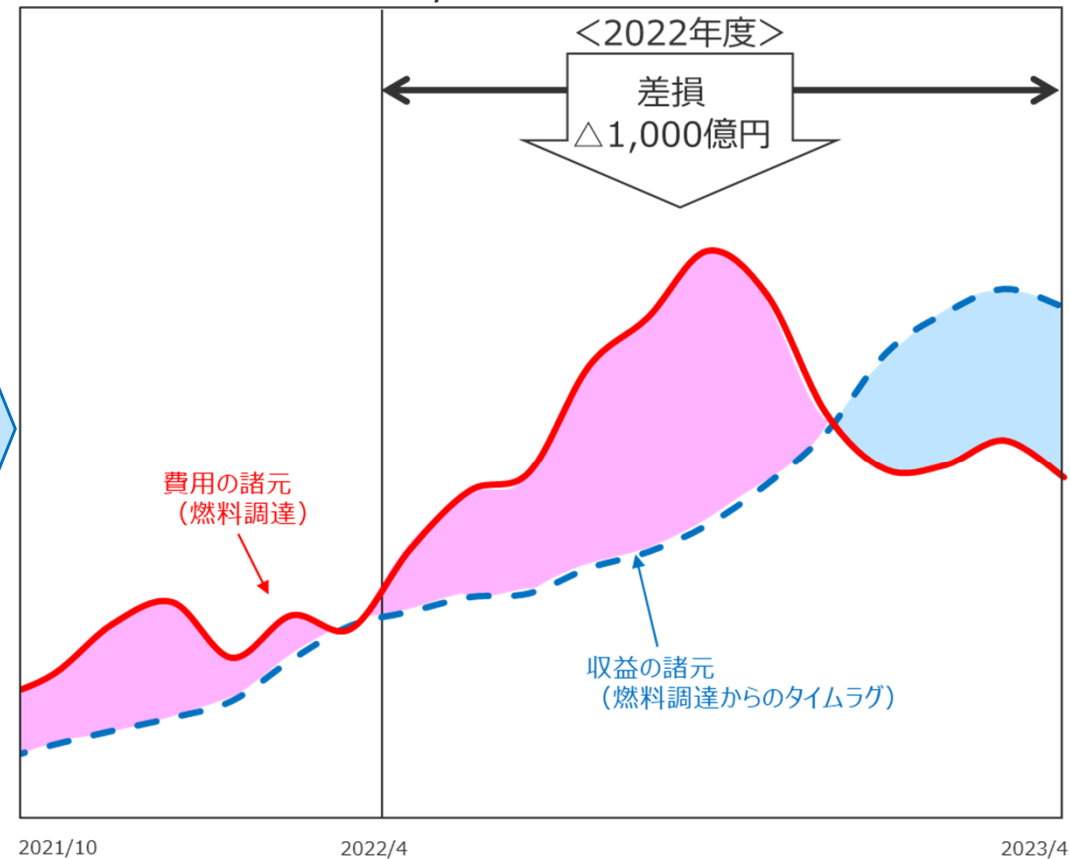
※ () 内は予想値

(参考) 期ずれ影響のイメージ (年度見通し)

○10月公表 (△1,500億円)



○今回公表 (△1,000億円)



Ⅱ 参考データ：決算・財務関連

連結収支比較表

(億円,%)

	2022/3Q (A)	2021/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
営業収益 (売上高)	28,140	18,268	9,871	54.0
持分法による投資利益	—	24	△24	—
その他収益	83	135	△52	△38.7
営業外収益	83	160	△76	△48.0
経常収益	28,223	18,429	9,794	53.1
営業費用	27,657	18,286	9,370	51.2
持分法による投資損失	544	—	544	—
その他費用	299	193	106	54.9
営業外費用	844	193	651	336.6
経常費用	28,502	18,480	10,022	54.2
(営業損益)	(482)	(△18)	(500)	(—)
経常損益	△278	△51	△227	—
濁水準備引当金取崩し	1	—	1	—
特別利益	439	—	439	—
特別損失	393	56	336	596.4
法人税等	164	9	154	大
非支配株主に帰属する四半期純損益	△20	13	△34	—
親会社株主に帰属する四半期純損益	△374	△131	△243	—

連結財政状態の概要

(億円)

	2022/12末 (A)	2022/3末 (B)	増減 (A-B)	<主な増減理由>
資産	65,029	61,747	3,282	現預金の増加など
負債	43,152	40,514	2,637	有利子負債の増加など
純資産	21,877	21,232	644	円安による包括利益増加 など

	2022/12末 (A)	2022/3末 (B)	増減 (A-B)
自己資本比率(%)	32.1	32.7	△0.6
有利子負債残高	29,508	28,002	1,505

2022年度 セグメント別業績見通し

【経常損益】

(億円,%)

	今回公表 (A)	10/28公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	100	△350	450程度	—
パワーグリッド	△300	△600	300程度	△50.0
J E R A	320 (1,320)	△1,180 (320)	1,500程度 (1,000程度)	— (312.5)
その他・調整額	480	430	50程度	11.6
合計	600 (1,600程度)	△1,700 (△200程度)	2,300程度 (1,800程度)	— (—)

() 内は期ずれ除き経常損益

(参考) JERA連結業績見通し

	今回公表 (A)	10/28公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
J E R A 連結純損益	1,000 (3,000)	△2,000 (1,000)	3,000程度 (2,000程度)	— (200.0)

() 内は期ずれ除き連結純損益

(%)

	2022年度 見通し	2025年度 中期経営計画公表
ROI C	3.0程度	3.0以上
ROA	3.0程度	—
ROE	7.0程度	7.0程度

※ 期ずれ除きの数値

(億円)

	2022年度 見通し	2022/3Q	2022~25年度累計 中期経営計画公表
戦略的投資	400程度	300程度	4,500程度

本資料取扱上のご注意

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる場合があります。